

幼稚園の教育目標

心情豊かな優しい子ども 自分で考え行動できる子ども 元気に活動するたくましい子ども

1、本年度の重点課題(学校評価の具体的な目標や計画)

- ① 保育者の人材確保と、質の高い幼児教育の提供をするための工夫、研修を行う。
- ② 当園の教育理念をもとに、鷺の宮幼稚園らしさを広く知らせ、理解と協力を求める。
- ③ 満3歳児保育の充実と子育て支援を積極的に行う
- ④ ウイルス感染防止対策を徹底し、実現可能な行事、活動を展開させる。

2、評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	結果	理由	学校関係者評価
1 保育の計画性	A	コロナ禍でもできるだけ多くの方に園児の様子を見ていただきたいと考え、行事の見直しをした。これまでの形を変え、今後、コロナが続いたとしても実現可能なことを心がけた。教職員の働き方改革も意識し、準備等を計画的に行い、1年を通して保育の流れを大切にされた。	A
2 保育のあり方 幼児への対応	A	一人ひとりの傾向や特徴にあった対応を心掛けた。臨床心理士によるソーシャルスキル研修をもとに、子どもを理解することを大切にできた。コロナ禍で体験が減りがちな社会なので、実体験ができる保育、本物に触れる保育を心がけた。また、職員間で話し合いを多く持つことで、子どもをより総合的に見るようにした。	A
3 教師としての資質、能力、 良識、適正	B	新任3人を迎えたので、伝える事、指導することが多く時間がかかった。が、先輩たちが丁寧に根気よく指導し、新任もそれを素直に受け入れ、明るく元気なチームができたと思う。が、日々の業務に追われ、教職員の余裕がなく、自己研修ができにくい状況は続いている。	A
4 保護者への対応	B	連絡帳、電話、コースで会った時など、保護者の方とコミュニケーションをとる努力をしてきたが、コロナ禍のため保護者との接点は少なくなっている。また、保護者の方が相談しやすい場を、もっと増やしていく秘湯要請を感じる。	A
5 地域の自然や社会との かかわり	C	感染予防対策のため、ほとんどできなかった。自然とかかわりは全職員の課題として挙げられている。	C
6 研修と研究	B	少しずつ研修が開かれるようになり、参加している。が、保育中に出掛けることは難しい状況でもある。	A
7 外部アンケート	A	園児ひとり一人を大切に、そしてそれぞれの保護者様の気持ちに寄り添うことを心掛けてきた。昨年度に比べ、ほとんどの項目で高評価をいただいた。	A

* 結果の表示方法 A 十分達成されている B 達成されている C 取り組まれているが成果が十分に出ない D 取り組みが不十分

4、本年度の重点課題の総合的な評価結果

コロナ禍が続く1年となった。が、幼稚園側の方針や思いを保護者の方がご理解、ご協力くださり、いろいろな行事や保育が実現できた。3年ぶりに、多くのご家族や関係者を行事等に招待することができ、園児の成長と一緒に感じていただくことができた。
満3歳児クラスの入園児も、ほぼ定員にまで達した。今年度から更に低い年齢を対象とした「ほしのこプラス」をスタートさせた。園の存在や教育理念を広く知らせ、入園に繋ぐことができるよう努めたい。教職員の研修もさらに続けていく。

5、今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
地域(自然)との関わり	・園外保育等を実現可能なことを模索していく。 ・職員の苦手意識を減らしていく。
教員の資質向上	・それぞれの得意分野を生かし、研修できる環境を整える。 ・発達がゆるやかな子どもへの対応方法を学ぶ。 ・時間的、精神的な余裕を持てるよう業務を見直す。
保護者との関り	・園から、保護者に対して、積極的に声をかけていく。 ・保護者の方が話しかけやすい環境、機会を更に増やすよう努める。 ・おうちえん、ホームページの充実を図る。

6、学校関係者評価委員からのコメント

この幼稚園に入園させて良かった。
園児一人ひとりを尊重し、安全に楽しく過ごせるように指導してくださっている。
強いて言うならば、動画の数が少ない。
幼稚園のことを(生活のことを)言わない子どもが多く、幼稚園生活を知るのに、動画を頼りにしているところがある。
動画のアップには(編集も含め)負担が大きいと思うので、一言でカテゴリー化した写真を多めにアップするなど、負担を軽減できるのではと思う。